

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。



桑名鉄工協同組合 青年部会 八日会

八日会会長 能登谷 忠尚氏

「八日会」は、昭和44年6月、桑名鉄工協同組合 青年部会として設立しました。3年後には50周年を迎えます。

能登谷氏は、平成28年4月に青年部会長に就任しました。会長の任期は1年で「誰もが1度は会長を経験するというのが、この会の良いところ」と能登谷会長は言います。通常、20代で八日会に入会し、40代で会長に就任。途中で辞任することもできますが、会長を務めなければ、OB名簿には掲載されません。能登谷会長は、「会長職を経験するのも勉強。これから経営者となる者に、失敗も含めて好きなようにやらせてくれるところが良い。」と話します。



2月開催の研修会の模様

八日会では、毎月、専門分野の講師を招いて講演・研修会等を開催しています。

昨年10月には、毎年開催しております「市長カフェ」を行いました。当青年部会員企業を視察の後、意見交換を行い、ものづくり産業や産業観光、労働力の確保等について青年部会員の様々な思いを市長に話し、今後の市政に役立てて頂くとともに、若者同士の色々な事について熱く語り合いました。

また、年一回の先端技術を有する企業への視察研修会の開催や他県、他市の同業者との交流、会員相互の親睦会等も行っています。親会と合同で事業を実施する機会もあります。11月には、経済金融活性化などの特区が設けられている沖縄県への視察を行い、本年2月には毎年親会と行っている

合同事業として、航空機産業について学ぶ研修会を開催しました。研修会等の開催に当たっては、内容を充実して、参加しやすい雰囲気づくりを心掛けています。

当組合の組合員数は93社で、そのうち31社が八日会に属しています。組合員は、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業及び機械器具卸売業を行っており、その中でも主にベアリングをはじめとする自動車部品等を製造しています。

能登谷会長の企業について何うと、「工具屋さん」という答えが返ってきました。能登谷会長が代表取締役社長を務める株式会社能登谷商店は、金属を加工する際に必要な機械・工具類を取り扱っており、「組合員、青年部会員である各鉄工所さんとは日ごろからの繋がりがあるので、的確な工具類を提供するだけでなく、青年部会のことなど多様なニーズに対応できる。」、また、「自身の企業のためにも、職人さんが仕事をしやすいように、お互いが連携して業界を盛り上げていかなくてはいけない。会も会社もどう動かせたかということが重要で、自社の運営にも活かせる会長職を経験し、青年部会員全員が成長できればと思っています。」と話します。

さらに現在は、当青年部会も桑名市観光協会提案の灯籠づくりに取り組んでいます。多くの方が桑名を訪れてくれるようにと宿場町のなごりを再現し、風情ある街並みにする計画です。



沖縄県視察の模様